

みんな生き物がいるかな??



捕まえるのかな??

よし! 釣ってさう!!



見る??

見えた見えた!!



みんな  
おしゃべり

僕も見たい!!

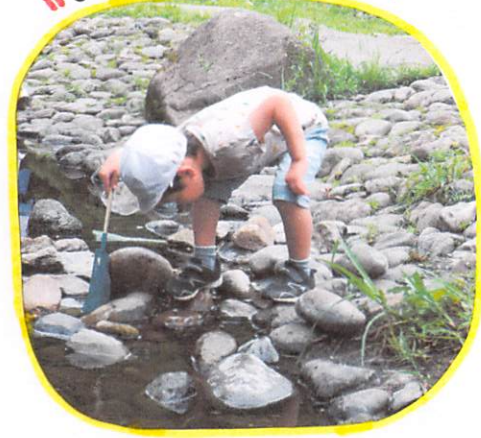
# 生き物さがし

子ども達がずっし楽しみにしていた泉の森に行ってきた。それぞ網や釣竿を持ち川に生き物を探がしていった。魚がいっぱい見えたので石を動かしてサテ、水草を揺らして探がしていった。魚を見つけたら子ども同士報告し砕かれて岩と岩に立ち作草を立って捕まえる子もいた。この日一番捕まえたのはあめんぼでした。逃げるのが早いあめんぼをサッとすくい上げて捕まえた。じつと網を川の中に入れてあめんぼが入ってくるのを待つ子もいた。なんびがニエエを捕まえることができた。幼稚園に持ち帰り後日観察画をつき組んで描きました。虫めがねで見つけた、顔を近づけて観察していろいろな方法で観察を楽しんでいました。そして見たものを画用紙に描きました。描まなからどくらく大さかたか、みんな顔を上げてかたかた会話を楽しみながら楽しく描く姿が見られました。

こくらくたきかたよ!!



この石の下にいるかな? じゅんじゅん...



捕まえるのかな??



みんな顔してるのかな??



小さいかな? 下まかな??





# 生き物とがしを通して...

生き物とがしを通して子どもたちに協同性、思考力の芽生え、自立心、自然との関わり、生命尊重  
言葉にふりかえり、豊かな感性と表現を学ぶことができています。

1つ目は協同性・思考力の芽生え・自立心という点です。どうしてかという点で速い魚やあめんぼを捕まえるのか  
と子どもと話し合いながら、いろいろな方法で捕まえる方法を試してみたり。いろいろな方法を試してみたりか  
なかなかに捕まえることができています。そして諦めずにはなかにどうしてか捕まえるのか、今の  
作戦で何が失敗だったのかを話し合っています。何度も挑戦し捕まえることができた際には喜び合い、他の子に見せ  
に行っていました。捕まえることができたことで自信になったことがたくさんあります。

2つ目は自然との関わり、生命尊重という点です。幼稚園では見ることができない泉の森ならではの生き物について  
触れ合ったりすることができています。ザリガニや小エビを捕まえることができて、捕まえた子どもは嬉しく他の子と  
愛着を持って関わる姿が見られました。幼稚園に戻ってから泉の森に行くと前よりも生き物に関わる  
子が増えたと感じています。残念ながらザリガニもエビも動かなくなってしまうことがよくあります。経験  
から生き物をより大切にしています。命の大切さを身近で感じる機会が増えてきています。

最後に言葉にふりかえり、豊かな感性と表現という点です。泉の森に行った後日捕まえたザリガニと  
エビを虫かごや紙などを使って観察し絵を描きました。ここでは自分が見た物ばかりでなく、いろいろな生き物について  
のか、目の色は何か色だったのかを伝え合う姿や、手を使って大きさを表現する子がたくさんいます。言葉  
だけでなく実際に同じ生き物を見て説明をする子もいます。このように子どもたちが相手に自分の  
見た物を理解してもらうためにどう伝えようか考えている姿がたくさんあります。

今後も生き物とがしだけでなく植物などにも触れ、新しい発見を通して知識や学びを得られるよう  
環境を作っていきます。

- < 10の姿 >
- 協同性
  - 思考力の芽生え
  - 自立心
  - 自然との関わり
  - 生命尊重
  - 言葉にふりかえり
  - 豊かな感性と表現

